

第40回眼科写真展 作品募集

第76回日本臨床眼科学会(東京国際フォーラム・JPタワーホール&カンファレンス)会期中の2022年10月13日(木)~10月16日(日)に開催される「第40回眼科写真展」の作品を募集します。

募集部門^{*1}

- 第1部門 眼底写真:機種は問わず。広角眼底カメラも可。組写真^{*2,*3}・パノラマ写真^{*3}も含む
- 第2部門 蛍光造影写真:機種は問わず。組写真^{*2,*3}も含む
- 第3部門 細隙顕微鏡写真:同時立体カメラで撮られたものは除外とする
- 第5部門 その他:SLO, OCT, FAF, OCT-Angio等, 第1部門から第4部門に属さないもの
- 入門者部門 眼科写真経験年数3年未満の者が撮影した眼科に関する写真^{*4}

閲覧するために多くの方が作品に接触するため、今回第4部門(立体写真)の募集は見送ります。

- ^{*1}:部門記載のないものや上記の規定と異なるものにつきましては、写真展委員の判断により部門を変更することがありますのであらかじめご了承下さい。
- ^{*2}:他部門を含む組写真は第5部門とします(例えば、カラー眼底写真と蛍光造影写真の組合せは第5部門になります)。
- ^{*3}:台紙を使用する場合は必ずA4黒の台紙を使用下さい。また、作品サイズにカットしてご応募下さい。
- ^{*4}:入門者部門の眼科写真経験年数は応募者の責任において自己申告とします。眼底写真、蛍光造影写真、細隙顕微鏡写真等の区分は設けませんが、立体写真は応募対象外とします。

応募資格

国家資格を有する者(医師、看護師、視能訓練士等)

応募方法

＜第1・3・5, 入門者部門＞

- ・プリントの裏面に、応募部門・題名(病名)・撮影機器名・所属もしくは都市名・氏名・天地の指定を油性ペン(ラベル・タイプライターなどプリント表面に影響を及ぼすものは使用しない)で記入するか、応募票を日本眼科写真協会のホームページよりダウンロードして使用下さい。
- ・台紙使用の場合は別紙に上記がわかるよう記入し同封して下さい。

作品サイズ

- ・A4サイズ(210×297mm)。カットなどしてサイズが足りない場合には、A4の黒い台紙に作品を貼り応募下さい。
- ・全ての写真(第4部門の立体写真を除く)はA4フチ無しプリントとして下さい。(台紙に貼る場合は、フチ無しは関係ありません)組写真・パノラマ写真は、台紙にレイアウトするかPCでレタッチし1枚として応募下さい。

出展料

- ・各人応募点数に関係なく、作品の出展料(パネル加工代金など)として1,000円をご負担下さい。
- ・出展料は郵便払込用紙で下記へお振込み下さい。なお、作品の送付時に振込み控えのコピーを添えて下さい。

口座番号:00140-2-10149

加入者名:日本眼科写真協会

応募規定

- ・全ての部門において眼科に関する写真とします。
- ・応募総数は1人8点までとします(会場の都合による)。
- ・過去に応募した作品は応募できません。
- ・連名での出展はできません(撮影者氏名のみでお願いします)
- ・所属長の使用許可を得た作品に限ります。
- ・既定サイズのプリントで応募下さい(インクジェットプリンター等で印刷したものも可)。
- ・個人が特定できる作品は必ず本人の同意を得て下さい。
- ・作品の題名は、病名を原則とし洒落や風刺は避けて下さい。また、展示の都合上できるだけ短く簡潔なものとして下さい。展示の都合上全角20字以内(英数字1字は0.5文字換算とする)として下さい

(制限を超えた場合はカットして表示します)。

作品の返却

全ての作品の返却は行いません。

締切

2022年9月15日(木)必着(締切日以降に届いたものは受理しませんのでご了承下さい)

写真送付先、問い合わせ先

〒252-0375 相模原市南区北里1-15-1

北里大学病院・眼科 日本眼科写真協会・事務局

山口 純 宛

お電話でのお問い合わせはできません。

日本眼科写真協会ホームページのお問い合わせフォームのみの対応とさせていただきます。



協会 HP はこちら

その他

- ・優秀な作品は、(株)医学書院発行の「臨床眼科」誌の表紙や、眼科写真協会の協会紙に掲載されることがあります。
- ・応募された作品に関する著作権は日本眼科写真協会に帰属するものとします。
- ・現在、新型コロナウイルスの感染が発生している中、不特定多数の方が集まる行事を実施することについて、感染の危険性が危惧されている状況です。写真展においても開催を中止せざるを得ない可能性もあります。